

.....  
**掲 示 板**  
 .....

### 天文学将来計画が印刷になりました

天文学将来計画(1975年2月第3次修正計画)が日本学術会議天文学研究連絡委員会でもとめられましたが、このたび学術会議から印刷になりました。別刷の入手を希望する方は東京大学理学部天文学教室海野和三郎宛に申し込んで下さい。

(天文研連将来計画小委委員長 海野和三郎)

### 東レ科学技術賞および研究助成候補者募集

上記について東レ科学振興会より本会あて推薦依頼が来ています。希望者は**10月20日**までに、学会庶務理事まで御連絡下さい。募集の要綱はつぎのとおりです。

科学技術賞……(1) 学術上の業績が顕著なもの (2) 学術上重要な発見をしたもの (3) 重要な発明をしてその効果が大きいもの (4) 技術上重要な問題を解決して技術界への貢献が大きいもの、に対し金メダルと副賞250万円。

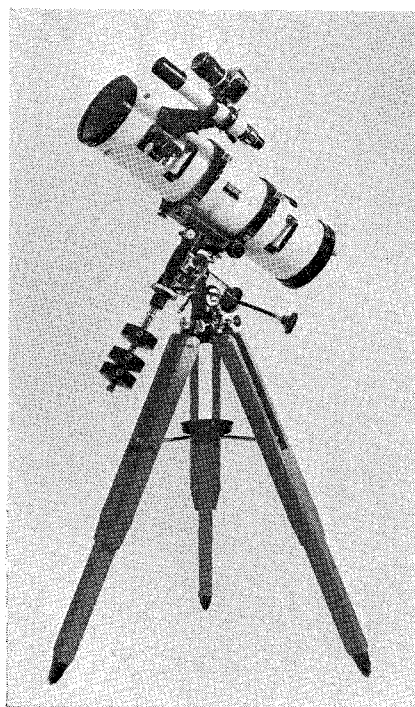
研究助成……科学技術の基礎的な研究に従事し、その研究の成果が科学技術の進歩、発展に貢献するところが大きいと考えられる研究を行なっている研究者、または

そのグループに対し1,000万円程度。

贈呈期日は両方とも昭和51年3月の予定。

### VLA 計画の近況

アメリカの電波天文学大型プロジェクトとしてうわさに高い VLA 計画に予算がついて建設がはじまったというニュースを聞いて久しいが、Sky & Telescope 紙の6月号に近況が載っているので紹介したい。これは、ご存じ最近はやりの超口径合成アレイで、全長63kmの「Y」字型の上に口径25mのアンテナ27基をあれこれ動かしては観測するという電波望遠鏡である。土地はニューメキシコ州で、設計責任者は、電波天文界に名高い S. Weinreb 氏。完成は1981年の予定で、波長は、18-21cm, 6cm, 2cm, 1.3cmで、分解能はそれぞれ2, 0.6, 0.2, 0.1秒角となる。マッピング感度、分解能とも、既存のいかなる干渉計よりも秀れたものになり、天体物理学界に及ぼす影響は非常に大きい。1981年完成までの予定をたどると以下ようになる。1975年現在、1.2kmのレールが敷設されており、年末までには二素子干渉計としてリンクされる。一方、中央制御部の建設がはじまっている。1976年に入ると、素子干渉計として動きはじめ、さまざまなテストがおこなわれる。新たに15kmにわたるベースラインを建設する。1977年なか



## 15cm新時代をひらく CX-150型 反射式赤道儀

D : 153mm f : 1310mm

定価 180,000円

- コンピューター設計による高性能新光学系  
 〈球面主鏡+補正・延長レンズ+斜鏡〉
- 鏡筒長は同等F値(F/8.5)のニュートン式  
 に比べ約60%に短縮
- 震動性の低減にともない、剛性・精度を保ちながら  
 軽量コンパクト化に成功  
 (組立重量 27kg)
- 短焦点化(F/5.6)用付属レンズ開発中  
 カタログ呈(誌名記入)

本製品は東京都知事により開発助成並びに輸出推奨品の認定を受けました。

## ミザール望遠鏡

**MIZAR** 日野金属産業株式会社

本社/東京都目黒区碑文谷1-10-8

〒152 TEL 03-711-7751(代)

大阪支店/ TEL 06-757-5801(代)

ごろには、全体の3分の1スパンを使って6アンテナ系として稼動しはじめ、年末には、10素子として動く。この時、既存のケンブリッジやウェスターボークの干渉計をしのぐことになる。このころになると全体のシステムとしてはほぼ完璧に動きはじめており、次の年度からは、ベースラインを伸ばしたり、アンテナを増したり(年に約4基ずつ)しながら観測をしてゆく。つまり、1977年から1981年にかけては、年々、その能力をあげながら観測する予定でいる。さて、VLAが完全な完成に近づく1980年ごろとは、日本にとってどんな年であ

ろうか? 太陽は、このころ最大活動期(どういうわけか、これは世界共通!)で、また、日本の45mおよび5素子超合成干渉計計画は(順調にいっている)このころ一足さきに完成することになる。(平林 久)

お 知 ら せ

来る 9 月 25 日より東京天文台堂平観測所の電話が自動化され、電話番号が下記のように変更になります。  
新番号 04936-7-0224

賛 助 会 員 名 簿

(1975年8月5日現在の本会賛助会員は下記のとおりであります。ここに社名、代表者名を掲載させて頂いて感謝の意を表します。(五十音順))

旭光学工業株式会社	鈴木幸三郎	ソニー株式会社	井深大
朝日新聞社科学部	梅田敏郎	谷村株式会社新興製作所	谷村昌子
アストロ光学工業株式会社	滝沢 馨	地 人 書 館	中田威夫
岩 波 書 店	岩波雄二郎	天 文 博 物 館	
宇宙開発事業団	島 秀 雄	五島プラネタリウム	五 島 昇
沖電気工業株式会社	佐藤敦之	東京電力株式会社	木川田一隆
カールツアイス株式会社	波木泰雄	東北電力株式会社	若 林 疆
関西電力株式会社	芦原義重	ナ ル ミ 商 会	村上俊男
関東電気工業株式会社	関井忠夫	日本光学工業株式会社	彌永恭二郎
九州電力株式会社	瓦 林 潔	法 月 鉄 工 所	法月惣次郎
啓文堂松本印刷	松本 喬	丸 善 株 式 会 社	司 忠
恒星社厚生閣	志賀正路	三鷹光器株式会社	中村義一
甲南カメラ研究所	西村中子	三菱電機株式会社	
五藤光学研究所	五藤斉三	電子営業第二部	伊東祐義
金光教本部教庁	金光鑑太郎	ミノルタカメラ株式会社	田嶋一雄
島田理化学工業株式会社	前田幸夫	八洲測量株式会社	西村正紀
新電子工業株式会社	山本和一	フ ジ 見 商 会	坂本多賀志
誠文堂新光社	小川茂男		

1975年6月の太陽黒点 (g, f) (東京天文台)

1	—, —	6	1, 4	11	—, —	16	1, 7	21	0, 0	26	3, 11
2	1, 2	7	—, —	12	—, —	17	1, 18	22	—, —	27	3, 18
3	1, 3	8	0, 0	13	0, 0	18	—, —	23	0, 0	28	—, —
4	1, 4	9	0, 0	14	0, 0	19	1, 6	24	1, 12	29	—, —
5	—, —	10	0, 0	15	—, —	20	0, 0	25	—, —	30	1, 15

(相対数月平均値: 7.1)

昭和50年8月20日	発 行 人	〒181 東京都三鷹市東京天文台内	社団法人 日本天文学会
印刷発行	印 刷 所	〒112 東京都文京区水道2-7-5	啓文堂松本印刷
定価 300 円	発 行 所	〒181 東京都三鷹市東京天文台内	社団法人 日本天文学会
		電話武蔵野 31局 (0422-31) 1359	振替口座東京 13595